

三条大橋デザイン検討会議



第1回会議資料 2021.6.23

議題1;デザイン検討会議の概要

議題2;デザイン・コンセプト

議題3;施設のデザインポイント

■会議の目的

三条大橋補修補強事業において、文化都市・京都にふさわしい景観に調和したデザインとするため「デザイン検討会議」を設置し、市民の皆様や専門家等から御意見を頂くことを目的とする。



■三条大橋の概要

橋梁形式: 単純鋼H型橋(9連)

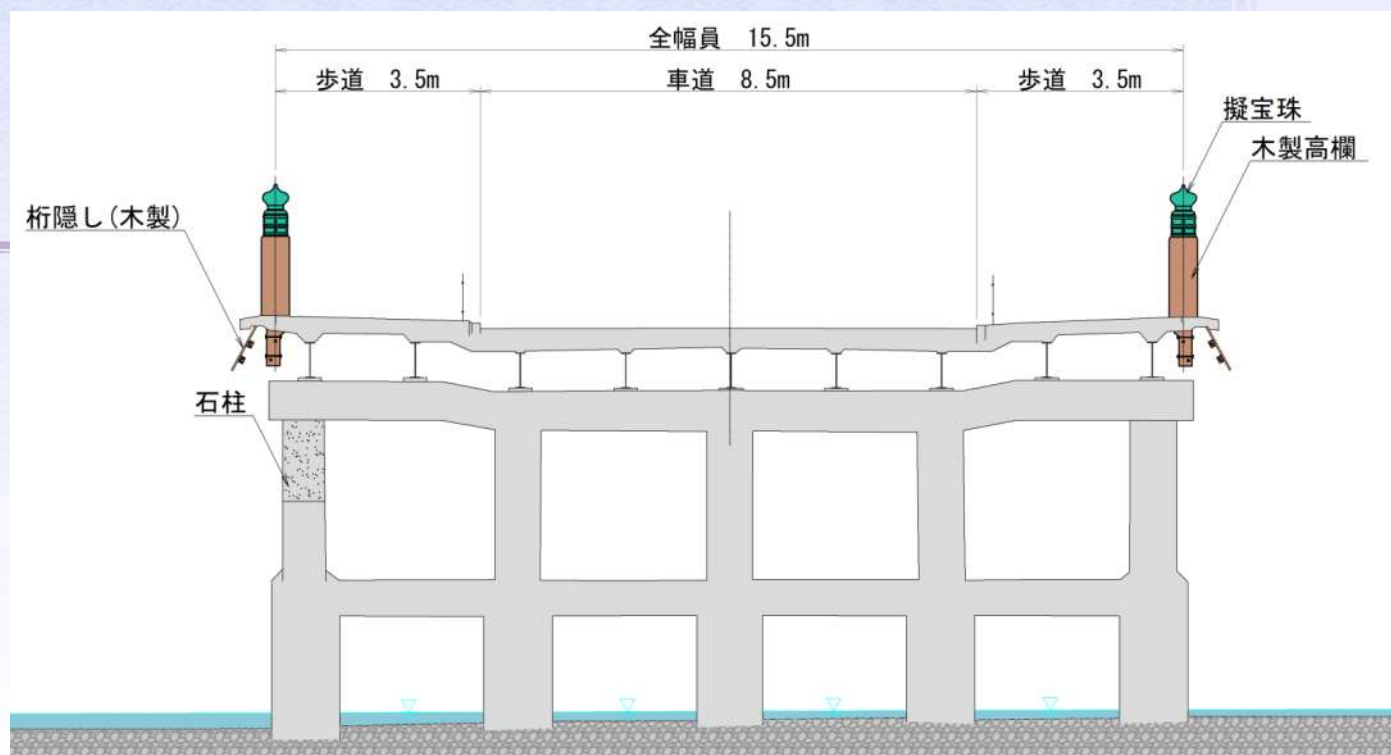
架設年次: 昭和25年

橋長: 73.3m

径間数: 9径間

支間割り: 5.365m+7@8.500+8.415

幅員構成(有効幅員): 16.7m(歩道3.5m+車道8.5m+歩道3.5m=15.5m)



■他のデザイン検討会議について

鴨川に架かる橋の改修にあたっては、「明日の鴨川の橋を考える会」からの提言を受け、周辺環境に大きく影響を与える可能性がある橋を対象にデザイン検討会議を実施している。

『橋のみやこづくり』をめざして

—明日の鴨川の橋を考える会 提言—

平成14年10月

明日の鴨川の橋を考える会

1. 一世紀をかけるプロジェクト——『橋のみやこづくり』

京都市民にとって鴨川は生活の中心であり、自然を感じる心のよりどころであります。

鴨川には43の橋が架かっていますが、それらは歴史の中でいき続け、時代を見つめてきた生き証人であったといえます。

人々は橋を渡るとき、単なる通行といった行為だけではなく、下を流れる水面をみたり、遠く広がる風景を眺めたり、川面をわたる風を感じて、心を癒してきました。

橋の存在は生活空間の中で重要な句読点でありました。

しかし、今日、鴨川の橋は都市化の進展に伴い、道路の一部と化し、橋の存在の意味が薄れようとしています。橋は右岸と左岸をつなぐという大切な機能がありますが、そのほかに自然と生活をつなぐ重要な働きがあります。

かつて、鴨川に架かっている橋は、人々が行き交うみやこの中心であり、橋はみやこを荘厳していたといえます。鴨川の橋を再び取り戻すには、歩行者を再び主役とし、分断された地域や歴史、生活と自然をつなぐ鴨川を荘厳するものという捉え方が大切であります。このような橋のあり方を追求することは、まちづくりの重要な視点といえます。

■過去の事例(北大路橋)

[工事前]



[工事後]



■過去の事例(二条大橋)

[工事前]



[工事後]



■過去の事例(加茂大橋)

[工事前]



[工事後]



■デザイン・コンセプトとは

デザイン・コンセプトとは、橋の具体的な形やありさまのイメージを言葉で表現するものであり、人々にデザインの共通価値観を与えるものである。

■デザイン・コンセプトを作るには

橋の周辺環境や文化、歴史

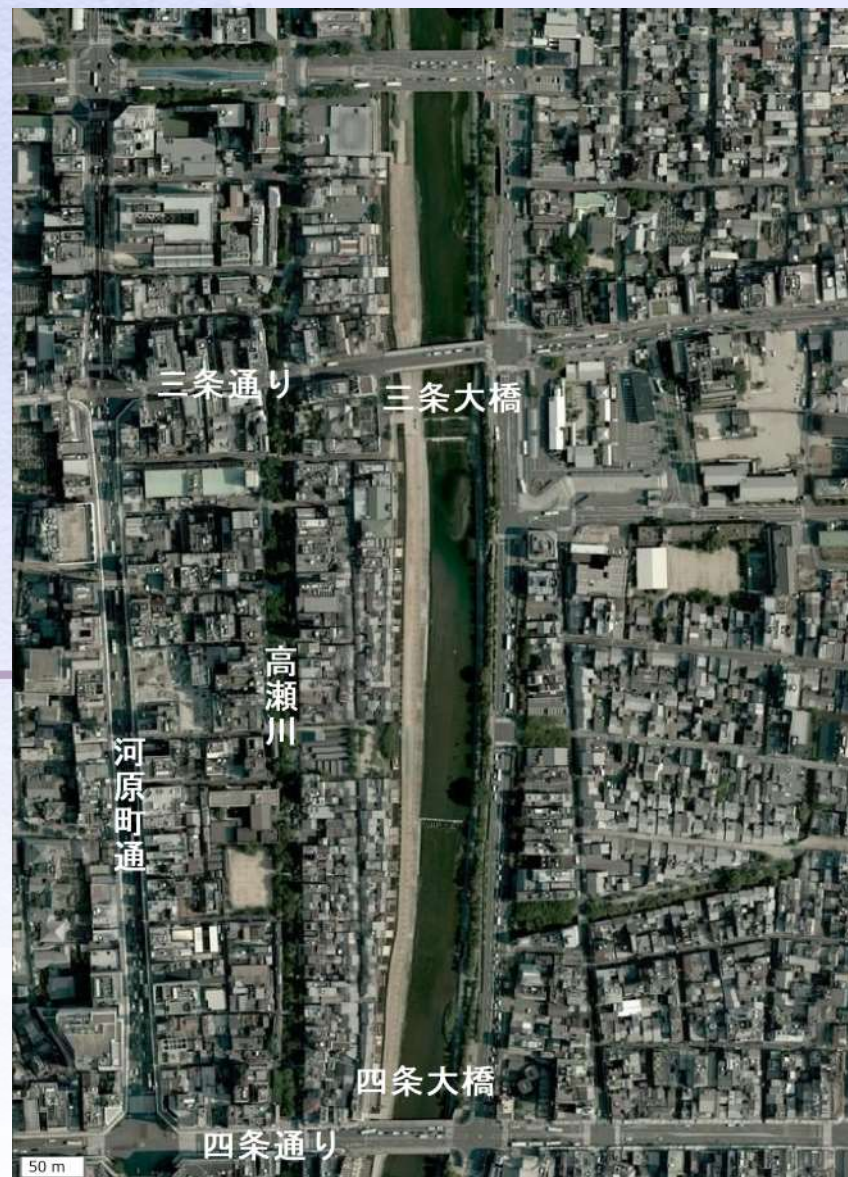
デザインの方向性

デザインの目的

を把握していく必要がある。

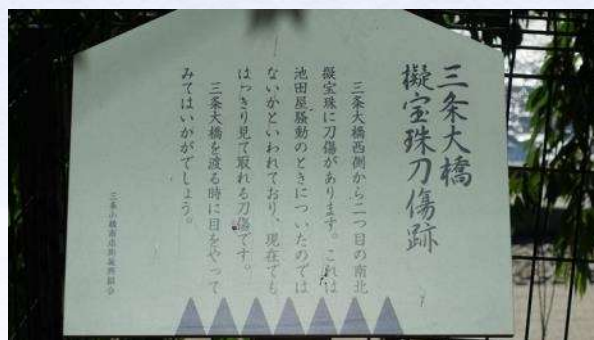
■ 三条大橋周辺の概況

- ・ 四条通り～三条通りは京都観光の一大拠点である。
- ・ 鴨川の納涼床は京都の夏の風物詩である。
- ・ 三条通, 高瀬川, 河原町通沿いに多くの飲食店等が軒を並べている。
- ・ 京阪電車三条駅が東詰めにある。



■三条大橋の歴史

- 三条大橋が歴史に登場するのは室町時代までさかのぼる。
 - その後、豊臣秀吉の命により三条大橋を修復・架橋された。
 - 現在のような木製高欄に擬宝珠が設置された姿となったのは豊臣秀吉が行った改修によるものである。
 - 江戸時代には東海道五十三次の終点と位置づけされた。
 - 大正元年、主にH形鋼を用いて橋脚の数を少なくした。
 - 現在の三条大橋は昭和25年に完成。
 - 現在の木製高欄は昭和49年に完成。
- 擬宝珠は当時のものを活用。



■ 京都の橋梁デザインの潮流

- 京都の橋梁デザインの一つの流れとして「西欧風の橋梁形式の上に和風のデザインを融合させようとしたもの」がある。
- 三条大橋は鋼桁の上に和風の木製高欄をのせたデザインである。同系統のデザインとしては渡月橋、宇治橋が有名である。



三条大橋路面状況



三条大橋桁下面状況



渡月橋



宇治橋

■デザイン・コンセプトを考える前提

◆三条大橋周辺の地域特性

- ・京都観光の一大拠点
- ・現代にも継承されている京都の歴史の舞台となっている場
- ・鴨川の納涼床に代表される親水空間

◆橋梁デザイン

- ・周辺環境との調和、三条大橋の歴史を重んじたデザイン

◆歩行空間

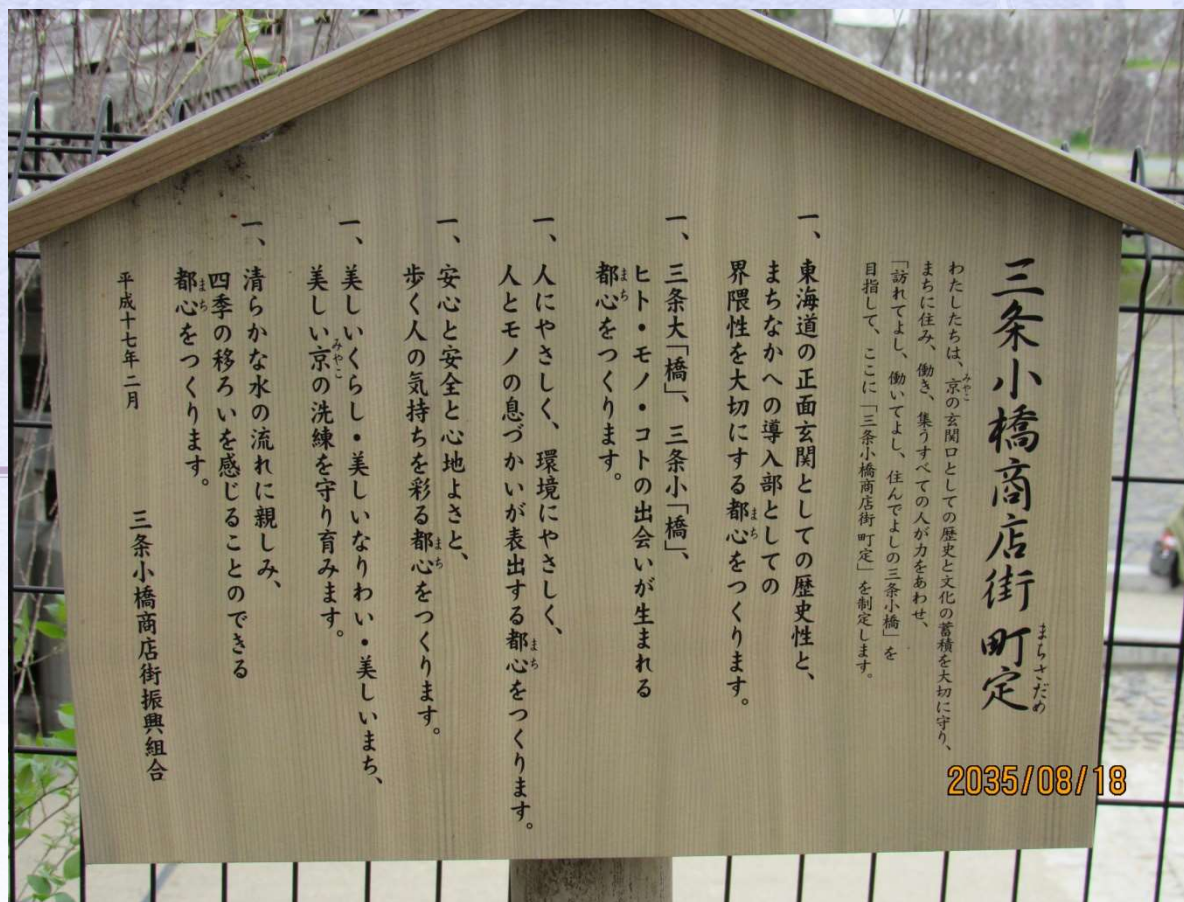
- ・安心して歩行できるゆとりのある歩行空間整備

■デザイン・コンセプト

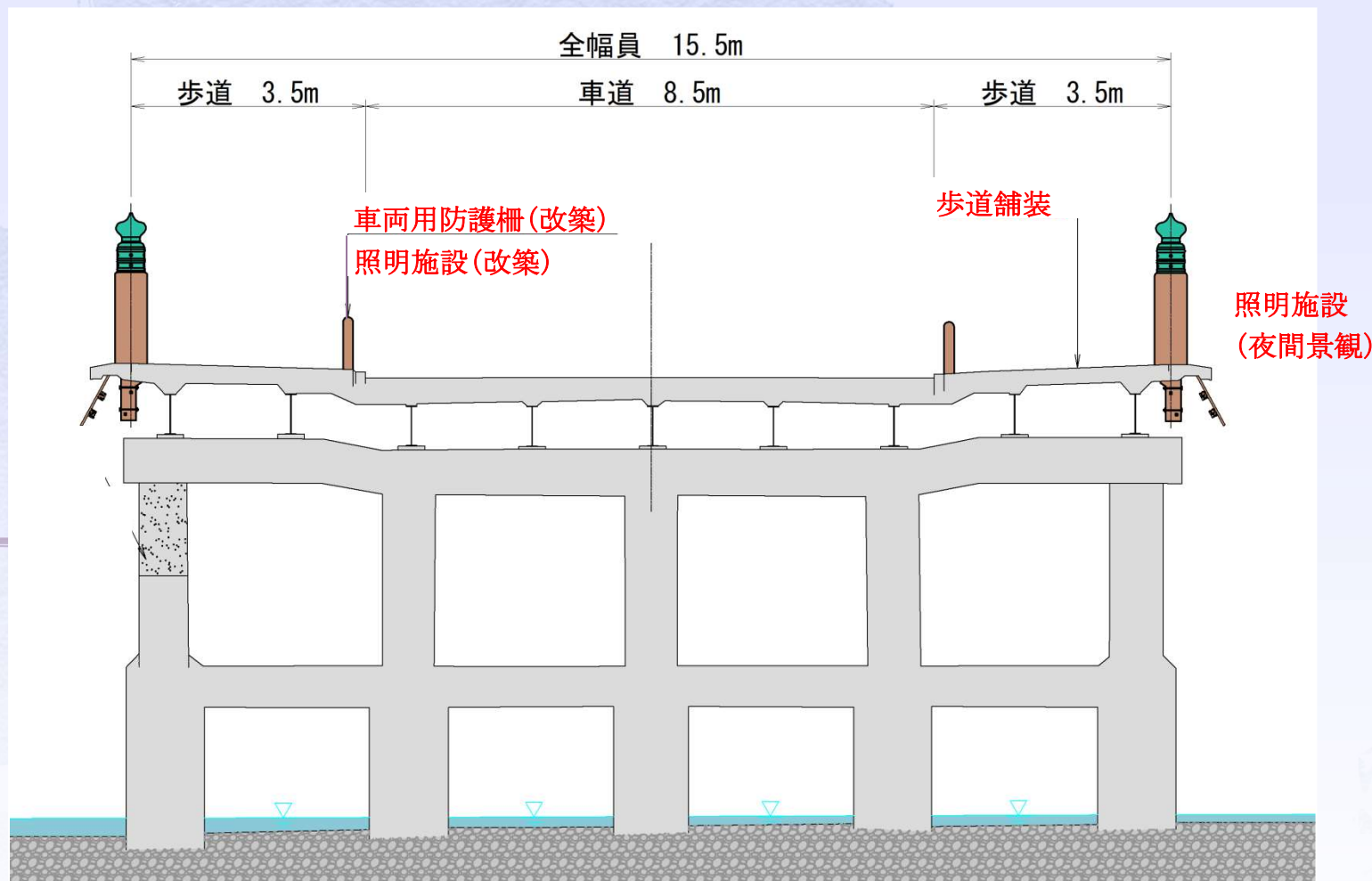
デザイン・コンセプトを考える前提を踏まえて、デザイン・コンセプトの設定を行います。

■デザイン・コンセプトの一例

◆三条小橋商店街町定



■ デザイン検討対象施設



■デザイン検討対象施設

- ①車両用防護柵
- ②歩道舗装
- ③照明施設(夜間照明含む)



車両用防護柵、歩道舗装、歩道照明

■三条大橋での実験イメージ

